

授業や生活のユニバーサルデザイン

こんな様子を目にしませんか？



- 1 道具置き用の棚や机の中が整理できず、必要な物が見つかることができない。
- 2 授業中、先生の話に集中できず、そわそわする。動き出す。
- 3 板書の内容で大切なところを見つけられない。
- 4 先生の話が終わるまで待てずに話し出してしまふ。
- 5 友達が使っている遊び道具を、無理やり取ろうとする。
- 6 終わりの時間になっても活動を止められない。
- 7 じっとしていられない。目に入ったものにすぐに触ろうとする。
- 8 順番を守れず、割り込もうとする。待てない。

何回も言ってるけど・・・なぜ？

ユニバーサルデザインの視点による授業や生活づくり

「授業のユニバーサルデザイン」とは？

- 1 特別な支援が必要な子を含めて、
- 2 通常学級におけるすべての子が
- 3 楽しく学び合い
- 4 「わかる・できる」を目指す

画一的な指導方法のことはありません。1～4を目指す指導の理念です。

授業デザインのこと

通常の学級において、特別支援教育の視点を生かした指導・支援の工夫を図ることで、みんなが「わかる、できる、楽しい」と感じる授業や生活づくりを工夫していきましょう。

佐賀県立うれしの特別支援学校 相談支援部

1 場の構造化・視覚化

片付け・整理整頓のための工夫

授業の流れの視覚化や板書を見やすくする工夫
授業における情報を見えるようにする。



めあては青

黒板の左に授業の流れ

まとめは赤

右に一日の目標

片付けの仕方を写真や文字で示すことで、道具の片づけ等が自分で行えます。物が整理されていることで紛失物も無くなり、授業の準備にかかる時間も短縮されます。

黒板の板書の仕方を統一すれば、どこに何が書いてあるかすぐに理解でき、授業の見通しをもつことにもつながります。①授業の流れ ②めあて ③まとめ ④一日の目標の書くように統一します。

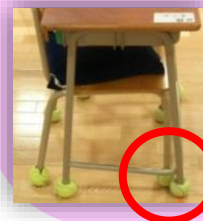
2 刺激の軽減

集中して学習できる座席の配置

どんな環境で集中できるのか、落ち着いて学習できるのか把握しましょう。座席は、他の児童生徒が気にならない一番前の席にするなど工夫しましょう。

- ①前列
- ②先生の近く
- ③窓際
- ④最後方

本人とも相談すると良いでしょう。



椅子の足の部分にテニスボールを取り付けるなどして床と椅子がこすれる音を軽減します。

掲示物を精選
前面の掲示はできるだけ減らす



不要な物はカーテン等で隠す
教室環境はシンプルに



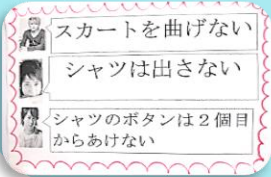
3 ルールの提示

行動・生活のルールが分かる工夫

授業等の約束や心構えの掲示

授業の始まりと終わりは、姿勢を意識させ区切りを付けましょう。
発表の仕方、話の聞き方は、学習する時の共通の約束として、常に振り返れるように掲示しておきましょう。

必要なこと、できることから、まず、取り組みましょう！



集団生活において適切な行動を示し、具体的にどのように振舞えばよいのかを示しましょう。
みんなに同じルールを示すことで、適切に対応し、安心して学習や生活が送れます。

学校に置いてままでよい教科書類	
国語	ファイル
社会	地理歴史資料集
数学	地図帳
理科	全部持ち帰る
英語	全部持ち帰る
芸術	ファイル・辞書
体育	体操服以外
美術	すべて置いてよい
技術	
家庭	
音楽	
その他	中学生活と進路 総合ファイル 道徳・学活ファイル 私たちの道徳 画みかきセット はさみ・のり ※カッターは禁止

上記以外は必ず持って帰ること
部活の道具は顧問の先生の指示

5 指示の出し方

分かりやすい指示の出し方

視覚情報を活用した指示の出し方

口頭での指示は、先生への話集中が難しい児童生徒には伝わらないことが多く見られます。また、話の一部分に注目がちな児童生徒には、視覚的にも伝え、提示したことを繰り返し活用することで定着が早まります。

- ①話の前に注意を喚起する。
- ②声のトーンや話す速度を変える。
- ③具体的で簡潔な言葉で指示や説明をする。
- ④「今から〇〇について話をします」(予告)
- ⑤「質問は最後にします。先生の話最後まで聞きましょう」

発表の仕方 3ヶ条

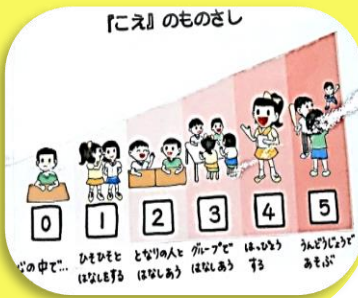
- ・手をあげ、指名されたら発表する。
- ・学級全体に聞こえる声で話す。
- ・ゆっくり、はっきりと伝える。

話の聞き方 3ヶ条

- ・話す人を見ながら、黙って聞く。
- ・必要なのはメモする。
- ・共感できたらうなづく。

話し合いの決まり 3ヶ条

- ・発言のr時は、友だちや先生の話が終わってから手をあげる。
- ・質問、意見があるときは、発表が終わってから確認する。
- ・場にあったいい言葉で発表する。



4 生活の見通し

時間を構造化する工夫

一日の予定が視覚的に分かる工夫

一日の予定だけでなく翌日の予定や提出物を書くことで見通しをもつことができ、児童生徒だけでなく教師も確認でき、変更にも対応しやすくなります。
月の行事予定も示しておくで見通しが立ちやすいです。

活動の順番や所要時間、終了時刻を事前提示することで活動の見通しがもて安心して学習に取り組めます。



提出物は期日を記載。2日前には予告をしないとよいでしょう。

今日	月	日	曜日	平常(50)	月	曜日	特別(45)	
今日の行事				商業エプロン マスク・爪楊枝	今日の行事			
1	国語	●●●			1	学活		
2	音楽	●	予レトリコーダ		2	総合		
3	数学	●			3	保健体育	健康日シューズ 体操服	
4	道徳	●			4	社会	ワーク ノート 教科書	
5	英語	●			5	技術		
6	家庭	●			6	美術	教科書 ファイル ポスター	

提出物	
国	漢字の学習 4-5 今日
美	作品仕上げと提出 発表日
英	英語Bノート 提出日
技	保健体育 発表日
音	DASHGO 発表日

6 集中・注目のさせ方

教師の指示や合図の工夫

興味をひきつける教材の工夫

- ①話の前に、注意を喚起する。
- ②注意を促す指示や合図を決めましょう。(教師の立ち位置、ハンドサイン)
- ③注目のさせ方をルール化しましょう。(手の位置、姿勢、話手に体を向ける)

具体的で短い指示でも児童生徒の興味関心が持続しないこともあります。視覚情報の中に子どもが興味を強くもつものを取り入れることで、意欲や関心が高まります。子どもたちが好きな物を事前に調べましょう。

7 リラックス・集中の持続

発達障害等の障害を有する児童生徒は集中が続かず、おしゃべりや手まげを始める姿が多く見られます。座っての学習ばかりでなく、途中で休憩を入れたり、体をほぐす運動を取り入れたりするとリラックスできるでしょう。また、1時間の学習を①話す②書く③操作する④作る等、活動に多様性を取り入れるのもよいでしょう。



具体的な支援の方法でご質問等ございましたら、うれしの特別支援学校「相談支援部」までご連絡ください。

佐賀県立うれしの特別支援学校

〒849-1425 嬉野市塩田町大字五町田甲2877番地1

Tel 0954-66-4911 Fax 0954-66-4936

